

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	災害対策として、地域との連携における避難訓練の実施をしておらず、今後の協力体制における取り組みについて。	5月に予定している防災訓練において、地域の方の協力のもと、入居者様が安全に非難できる。	運営推進会議において、防災訓練への呼びかけを行い、5月19日夜間を想定しての避難訓練を行なった、今後については、地域の方の緊急連絡網を作成予定している。	
2	6	権利擁護に関する制度の理解と活用について、ご家族への周知方法。	権利擁護等については、ご家族様への理解を含めるために、職員とともに勉強会を開催する。	家族会開催時は、実際に利用されていた、成年後見人等の話し合いを含め、権利擁護とうにに対する、理解と周知に取り組む。	6ヶ月
3	10	人権教育については、職員の理解がまだまだ得られないために、質を高めるための啓発活動について。	グループホームの職員だけでなく、併設の職員とともに人権に対する意識を高める。	行政の出前講座を利用して、拘束の無いケアを目標にし、又、人権に対する視野を広め、日々ケアにおける課題に取り組む。	9ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。